

単元名 本は友達2

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。
 (2) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。
 (3) 幅広く読書に親しみ、読んだ本をポップ等で紹介しようとする。

標準的な展開例

04010121_001

【教材名】事実にもとづいて書かれた本を読もう／ランドセルは海をこえて (上 P. 102～P. 113)

【準備等】ノンフィクションの本、本を紹介する用紙、知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★事実に基づいて書かれた本を読もう。 ○今までに読んで印象に残っているノンフィクションを紹介し合う。 ○教科書 (P. 102) 「学習の進め方」を読んで、今後の学習の流れを確認する。</p> <p>2～3 教科書 (P. 104) を参考にして、読みたいノンフィクションを選んで読む。 ★読みたい本を選んで読もう。 ○教科書 (P. 107) 「ランドセルは海をこえて」を読み、感じたことや考えたことをノートに書く。 ○感じたことや考えたことを伝え合う。</p> <p>4 教科書 (P. 105) の例を参考にして、読んだ本のよさを紹介する方法を考え、紹介するものを作る。 ★読んだ本を紹介し合おう。 ○読みたいノンフィクションを選んで読み、どの本を紹介するか決める。 ○教科書 (P. 105) 「ポップで紹介する例」を見て、読んだ本のよさを伝える方法について考える。 ○本を紹介するものを作る。</p> <p>5 読んだ本のよさを紹介し、学習を振り返る。 ★単元のまとめをしよう。 ○本を紹介するものを読み合う。 ○教科書 (P. 106) 「たいせつ」を読み、学習の振り返りをする。</p>	<p>・教科書 (P. 103) を参考にさせる。</p> <p>・普段さまざまなものを「読む」行為は、実は情報を読み取っているのだということに気付かせるようにする。 【評】文章を読んで、感じたことを伝え合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・これまでに読んだことのある本、今回新たに読んだ本、「ランドセルは海をこえて」のどれかから選ぶとよい。 【評】読書に親しむ活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】ポップなどの本を紹介するものを作る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教室や図書室に掲示して読み合う、グループで読み合うなどクラスの実態に応じて行う。</p> <p>・「読んだ作品を紹介し合おう」で読書紹介をすることで、選書の仕方や読書の楽しみ方を知る手がかりにしたい。</p> <p>・知多の友 (P. 20～33) 「本は友達」を活用して、読書感想文を書く活動へつなげてよい。</p>

【 備 考 】